



平成27年5月11日

草加かがやき特別支援学校 自立活動専任



特集 「抽出自立活動の指導で心がけていること」

5月中旬から、抽出自立活動の指導が始まります。すべての児童生徒が対象ですが、誰もが体験できる活動ではないのが残念です。今回は、1対1の抽出自立活動の授業で心がけているポイントをお伝えします。子どもたちとの日々のかかわりのお役に立てれば幸いです。

わかりやすく伝える

子どもがうまくできない原因を子どもに置くのではなく「課題の伝え方がまずかったのでは？」と考えてみます。言葉による説明でわかる、見本があった方がわかる、写真カードがあるとわかる、実際に活動してみたほうがわかるなど、子どもの理解のしやすさを判断し、課題を伝えます。

障害特性があることを理解する

子どもたちには、一度で習得できないこともあるし、状況から自分のすべきことを判断できないこともあります。教えなくても周りの子どもたちの活動を見てできるようになる定型発達の子どものたちとは学び方が違います。障害の特性を理解してかかわります。

できていることをほめる

子どもの問題行動に直面している時には、子どもの頑張っている側面やできていることに目が向けられなくなってしまうことがあります。できて当たり前というようなことでも、言葉にしてほめてみます。「いつもそうだといいのにね」なんて皮肉を言わず、「それができているのは嬉しいよ」「毎日それを続けていてえらいね」と伝えます。子どもとの人間関係をリセットできるきっかけになるかもしれません。

対症療法（表面的な症状の消失あるいは緩和）に走らない

問題行動をすぐに改善させたくて一時的な指導法を求めること（〇〇をやらなかったら、ごほうびシールをあげるなど）や、〇〇をやらせておけば落ち着くからと本来の課題と違う指導内容をやりたくなるがありますが、これは結局根本的な問題解決にはなりません。「どんなときに問題行動が起きたか」「どんな対応をしたのか」「子どもはどう反応したか」を丁寧に振り返り、子どもが問題行動をせざるを得なかった気持ちを推察することが大切です。この手順を踏むことは時間がかかりますが、解決策につながって行く近道と考えます。

ぶれない指導方針

「この子にはこれが大切」と判断したことには、子どもが嫌がっても、方針を貫いた姿勢でかかわることがあります。例えば、はじまりの挨拶をやりたくない子どもがいたとします。時間がかかっても、椅子に座って挨拶ができるように指導します。嫌がって抵抗する子どもがいますが、「挨拶をする」という方針は貫きます。ぶれない教員のかかわりが「やらなくてはいけなんだ」ということとの理解につながります。また「ダメなことはダメなんだ」という毅然とした態度と、できたらきちんとほめることをセットにすると、子どもとの信頼関係が生まれます。

ゴールを見る

抽出自立活動のゴールは、課題ができるようになることではありません。静かな環境で、1対1で、子どものペースに合わせて学習を行うと、ある程度のことにはできるようになります。ゴールはそこではなく、教室など集団に戻った時や、家庭など場面が変わった時にも抽出の指導場面と同じようにできることがゴールです。子どもができるようになることはすばらしいことだし、とても嬉しいことですが、ゴールを見誤ると、生活場面であまり役に立たない結果になってしまいます。

時には時間がかかることも覚悟する

子どもの苦手な課題や、問題の根本的な部分に向き合うような課題は、改善に時間がかかります。でも誰かがきちんと教えないと一生できないままかもしれません。いきなり大きな課題に取り組ませるのではなく、子どもが乗り越えられるような小さな課題をいくつも用意し、少しずつ無理なく取り組めるように働きかけます。「自分がこの子を何とかする」「この指導法で間違いはない」という考え方は子どもを追い詰めます。子どもたちにはできないことがたくさんありますが、イライラしたり焦っている様子を見せることは禁物です。

不安に寄り添う

集団生活の中での失敗経験、見通しの難しさ、心や体の不調、思いを表出できる手段が少ないことなどから、子どもたちは不安を抱えていることがあります。「どうしてほしいの？」と尋ねても、混乱してうまく答えが返ってこないことの方がほとんどです。不安を解決しなければ、授業を進めることもできません。柔軟な選択肢をいくつか提案できるようにすることと、1対1でじっくり気持ちに寄り添う態度を持ってかかわります。



自立ノート

6月23日(火)に今年度第1回目の自立活動保護者学習会が行います。今回のテーマは「コミュニケーションの力を育てる」です。お子さんの姿がイメージできるような具体的なお話を準備しています。参加申し込みの締め切りは6月8日(月)です。多くの保護者の御参加をお待ちしています。

「かがやき自立活動通信」のバックナンバーは、学校のホームページから見るができます。こちらも御活用ください。